

事業概要書

事業名	2050 年ゼロカーボンシティまつどへの機運醸成事業
団体名	一般社団法人銀座環境会議
事業担当課	環境政策課ゼロカーボンシティ推進担当室
事業概要 ※事業概要を 100 文字程度で記載して下さい。	
「まつど環境みらい会議」を中心に、生ごみ処理容器「キエーロ」の普及に取り組む。先進地域視察で得た知見をもとに市民向けワークショップを実施し普及を図るとともに、1 年目に開始した給水・マイ容器スポット事業も継続する。	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	市は 2050 年ゼロカーボンシティ実現を目指し、2023～25 年度に市民参加の「松戸市環境未来会議」を開催した。同会議の取り組み案は冊子化等で発信しているが、従来の発信だけでは市民に届けにくく、また個人や事業者の取り組みだけでは市民・事業者・行政が一体の運動になっていかないという課題がある。
事業の目的	令和 8 年度は「まつど環境みらい会議」を立ち上げ、給水スポット・マイ容器スポット事業に着手している。本事業（2 年目）では、この活動を継続しつつ、身近な生ごみという課題への対応を新たに加える。家庭ごみに占める生ごみの割合は大きく、水分を含んだ焼却によるエネルギーロスや CO2 排出が課題である。目的は以下の通り。 ① 市民が自らできる生ごみ減量・脱炭素行動（キエーロ活用）を広げる ② 8 年度に開始した給水・マイ容器スポット事業を継続する ③ ①②を通じて 2050 年ゼロカーボンシティまつどの実現への機運を継続的に醸成する
事業内容	キエーロは微生物が生ごみを分解・減量する、燃料を使わない生ごみ処理法で、神奈川県葉山町で考案され全国に普及している。 ① キエーロ先進地域（葉山町・鶴ヶ島市）への視察 会議体メンバー及び担当課職員が参加し、運用体制や普及啓発の工夫を学ぶ。性格の異なる 2 事例から松戸市に適した進め方を探り、設計に活かす。 ② 市民向けキエーロ作成ワークショップの実施 視察で得た知見をもとに、市民が自ら組み立てて持ち帰れるワークショップを市内公共施設等で複数回開催する。材料は会議体等が準備し、費用の一部を参加者が負担する。 ③ 設置世帯のモニタリング 参加世帯にモニターとして使用状況を記録・発信し、有用性の認知度を高める。 ④ 給水スポット・マイ容器スポット事業の継続 1 年目の給水スポット・マイ容器スポットの登録・マップを維持しつつ、市主催イベントで仮設給水機を設置する。
協働の必要性	生ごみ減量は身近な脱炭素・ごみ削減アクションだが、団体単独では「キエーロを知らない」「作り方がわからない」といった認知度の壁があり、呼びかけや会場確保、視察先との調整に限界がある。市との協働により実務を後押ししてもらえ、安心感や協力も得やすくなる。市にとっても、生ごみ減量という新テーマで環境未来会議の成果を継続的な市民アクションと

	して示せ、市民参加を広げられる。あわせて給水・マイ容器スポット事業の継続で、1年目の成果を示し続けられる。
事業の目標	① キエーロ作成ワークショップ 3回開催・参加世帯 30世帯以上 ② キエーロ設置世帯（モニター）10世帯登録 ③ SNS 発信 20回 ④ 給水・マイ容器スポット各 10 拡大（※重複あり） モニター世帯の生ごみ減量効果は月 1 回程度の簡易記録で確認する。SNS 発信は分析ツールで確認する。

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 386,460	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 55,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	ワークショップ参加費	¥ 60,000	材料費の一部負担 2,000円×30世帯
	自己資金の合計額 (B)	¥ 115,000	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 441,800	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 556,800	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 45,000	ワークショップ木工指導 15,000円×3回 謝礼
	交通費	¥ 10,800	ワークショップスタッフ 600円×往復×6人×3回=10,800円 交通費
	消耗品費	¥ 282,000	板（厚さ1.5cm等） 150円×25枚=3,750円 角材 200円×11本=2,200円 ポリカ波板 800円×2枚=1,600円 ねじ・くぎ類 5円×170本=850円 螺番 500円×2個=1,000円 （1基あたり材料費計） 9,400円×30基=282,000円
		¥ 7,700	工具・消耗品費 7,700円
		¥ 24,000	給水スポット広報物 120円×100枚=12,000円 マイ容器スポット広報物 120円×100枚=12,000円
	印刷製本費	¥ 25,000	チラシ印刷 5円×2,000枚=10,000円 配布資料印刷 50円×300部=15,000円
	使用料及び賃借料	¥ 65,500	ワークショップ会場使用 500円×3時間×3回=4,500円 料 500円×2時間×1回=1,000円 報告・検討会議会場費 3泊4日基本料金35,000円、冷却器オブ 水道直結型仮設給水機 ション25,000円
	通信運搬費	¥ 48,600	モニター世帯・関係先へ 430円×20件=8,600円 の郵送 往復送料40,000円 水道直結型仮設給水機
	対象経費の合計 (E)	¥ 508,600	
	食糧費	¥ 20,000	会議体運営時の茶菓子代 500円×10人×4回=20,000円
(その他経費)	交通費（自己負担）	¥ 28,200	視察（葉山町） 1,150円×往復×6人=13,800円 視察（鶴ヶ島市） 1,200円×往復×6人=14,400円
	その他経費の合計額 (F)	¥ 48,200	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 556,800	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×1140円
	会議体の体制強化（新規メンバー募集会議）	18,240 円	8 人 × 2 h × 1 回 × 1140 円
	視察先との日程調整・事前学習会	22,800 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 1140 円
	キエーロ先進地域視察（葉山町）	54,720 円	6 人 × 8 h × 1 回 × 1140 円
	キエーロ先進地域視察（鶴ヶ島市）	41,040 円	6 人 × 6 h × 1 回 × 1140 円
	視察報告のとりまとめ	11,400 円	5 人 × 2 h × 1 回 × 1140 円
	キエーロ作成ワークショップ設計・準備（3回分）	51,300 円	5 人 × 3 h × 3 回 × 1140 円
	キエーロ作成ワークショップ開催・運営（3回）	61,560 円	6 人 × 3 h × 3 回 × 1140 円
	モニター世帯への使用状況ヒアリング	34,200 円	3 人 × 0.5 h × 20 回 × 1140 円
	公共施設（学校・公民館等）への設置調整・設置作業	18,240 円	4 人 × 2 h × 2 回 × 1140 円
	市主催イベント参加・準備	22,800 円	5 人 × 4 h × 1 回 × 1140 円
	SNS発信（通年）	27,360 円	2 人 × 0.3 h × 40 回 × 1140 円
	次年度活動検討会議	22,800 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 1140 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
			人 × h × 回 × 円
合 計 （A）		386,460 円	

事業の実施体制

事業従事者数	10 人
--------	------

従事者	事業における主な役割
A	事業全体統括、渉外、会計、視察先調整、ワークショップ企画・運営、次年度活動検討
B	渉外、会計、視察先調整、ワークショップ企画・運営、次年度活動検討
C	視察参加、ワークショップ運営、モニター対応
D	視察参加、ワークショップ運営、モニター対応
E	視察参加、ワークショップ運営、モニター対応、SNS発信
F	ワークショップ運営、モニター対応、SNS発信
G	ワークショップ運営、モニター対応
H	視察参加、市主催イベント参加、ワークショップ運営、公共施設設置調整
I	公共施設（学校・公民館等）設置調整、ワークショップ運営、モニター対応
J	市主催イベント参加、ワークショップ運営、モニター対応、次年度活動検討